

東海道新幹線 駅中間からのお客様避難誘導訓練の実施について

東海道新幹線では、自然災害などの異常事態発生に備え、社員の対応能力・技術レベルを向上させるため、各現場での日々の教育訓練に加え、「異常時を想定した実践訓練」を定期的を実施しています。

今年度は、地震により駅中間で列車を停止させた後、係員による現地点検を行った結果、復旧には相当な時間を要することが判明したという想定で、お客様を線路外へ避難誘導し、バスにより最寄駅までお送りする訓練を下記のとおり実施します。

1. 実施日時

平成26年5月29日（木） 23時30分～25時30分（予定）

2. 場所

東海道新幹線 熱海駅～三島駅間 （静岡県三島市竹倉付近）

3. 訓練内容

東海道新幹線の駅係員・乗務員のほか、沿線の施設・電気関係の現業機関社員など、当社社員約110名が参加して訓練を実施します。

- (1) 列車から、はしごを用いて線路上に降車する訓練
- (2) 線路上を歩き、最寄りの門扉から軌道外の一般道路まで誘導する訓練
- (3) 手配したバスにお客様に分乗いただき、最寄り駅までお送りする訓練

【訓練イメージ】

